

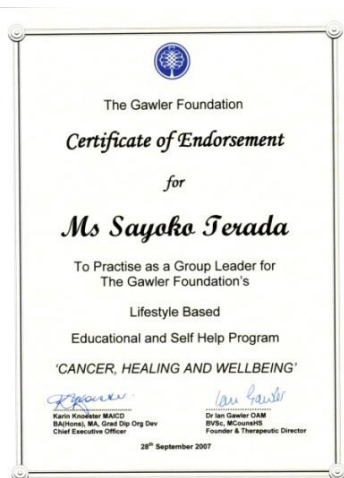
## 2003年からスタートした「がん患者へのピア・サポート」

2003年、藤田保健衛生大学病院にて、がん患者の会として、任意団体「わかば会」発足。

2009年、NPO法人ぴあ・サポートわかば会を設立。

2005年度～2010年度 藤田保健衛生大学 医学部 客員講師。

2006年～2009年 豪、メルボルンにある The Gawler Foundation で学ぶ  
がん患者のためのプログラムに4回参加。同プログラムを実施する認定書を得た。



## 2007年と2008年 厚生労働省科学研究、がん臨床研究事業に協力

主任研究者：保坂隆（東海大学医学部教授）「がん患者や家族が必要とする社会的サポートやグループカウンセリングの有効性に関する研究」 当会理事長寺田佐代子協力。



グループに分かれて話し合う参加者たちー豊田県大府市のあいち健康プラザ、寺田佐代子さん提供

**拠点病院でも浸透遠く**

がん患者の会（わかば会）は、がん患者の生活の質を向上させることを目的として、がん患者や家族の悩みを解決するためのピアサポート活動を行っています。現在は、豊田県大府市のあいち健康プラザを拠点として活動しています。

**情報クリップ**

- 遊びの学校 6月1日午後1～5時、豊田県高橋郡塩田市中町東部の塩田福祉センター。心の癒やしを感じる子どもや母親が対象。空手やけん玉など、五感を活かした遊びを通じて元気を取り戻す。参加費500円。問い合わせはNPO法人ことまねびとことまねび（082・402・1130）へ。
- 定年退職準備セミナー 6月20日午後8時～午後7時。名古屋市中村区名区4丁目の名鉄東山パークビル。退職後に必要な生活資金の準備方法などについて解説する。翌日午後1時～午後3時には「生命保険セミナー」。無料で、事前予約が必要。問い合わせは生命保険文化センター（03・3220・8517）へ。

2008年 平成20年 5月30日 金曜日 第4頁 17 13版

### 悩み語り合いから一歩前へ がん患者 自ら心のケア

**不安書き出し解決模索 専門プログラムで学ぶ**

がん患者が、自分の心のケアを学ぶためのプログラムが、豊田県大府市のあいち健康プラザで始まりました。このプログラムは、がん患者の悩みを語り合い、解決の糸口を見つけることを目指しています。

このプログラムは、がん患者の悩みを語り合い、解決の糸口を見つけることを目指しています。参加者は、自分の悩みを書き出し、他の参加者やスタッフと話し合い、解決の糸口を見つけることができます。

このプログラムは、がん患者の悩みを語り合い、解決の糸口を見つけることを目指しています。参加者は、自分の悩みを書き出し、他の参加者やスタッフと話し合い、解決の糸口を見つけることができます。

## peer support activity

### 2008年10月 ワークショップ開催

がん患者支援のためのプログラム紹介と実施のためのワークショップ開催。

後援：愛知県、(財)日本対がん協会。協賛：(株)ブリistol・マイヤーズ、  
(株)エイボンプロダクツ、ほか

### 2008年10月 乳がん国際会議に出席

US 国務省主催の乳がん国際会議出席。ワシントン DC、the Wellness Community 視察。

### 2008年11月 医療者研究会にて特別講演

がん医療従事者の研究会で特別講演。“がん患者のこころのセルフケアについて”。

### 2008年11月 愛知県主催がん後援会でパネリスト

がん講演会「早期発見にはがん検診を」「患者の目線で考える、がんと付き合い方”。

### 2008年11月 朝日新聞主催 「いのちの絆、ピンクリボンフェア」でパネリスト

2008年度～2009年度 国立がんセンターがん対策情報センター「市民・患者パネル」。

### 2009年度 がん患者支援プログラム実施 後援:愛知県

あいち健康プラザでがん患者のための「こころのセルフケアワーク」連続開催。



### 2009年3月 半田市から依頼 講師

女と男のつどい(半田市)、講演“がんを前向きに生きる”。

### 2010年1月 第3回「がん医療水準均てん化推進事業」研修会で講演

乳がん病理診断の重要性と病理医に望むこと(盛岡市アイーナ)。

### 2010年3月 当会初のピア・サポーター養成開催 モリコロ基金助成で開催。

参加者無料。ピア・サポーターのスキルアップトレーニング。



NPO 法人ぴあサポートわかば会

<http://witness/info> Email: [peer345@outlook.jp](mailto:peer345@outlook.jp)

## peer support activity

2010年10月 鳥取県より依頼。ピア・サポーター養成研修会・講師。



2011年3月 秋田県より依頼、がん患者ピア・サポート研修会・講師。

秋田県のHPに紹介されています。

<http://www.pref.akita.lg.jp/www/contents/1346387070248/index.html>



### ●秋田県HPより引用●

「ピア・サポート」とは peer（仲間）による支え合い、同じような立場の人によるサポートのことを指します。取り組みとしては、アメリカにおけるアルコールや薬物依存、ギャンブル依存症などの集いがあります。病気に関する悩みなどは普段なかなか口にできないものですが、自分と同じような悩み・課題を抱える人になれば打ち明けやすく、問題解決に向けた大きな力となります。

がんにもそういった側面があり、2人に1人はがんになると言われる今日でも、がんに関する悩みはなかなか人に言えないものですし、がんを経験していない人にその悩みを理解してもらうのは難しいことです。がんに関することは、がんを経験した人同士で共有することが、効果的なサポートとなるのです。

さて、秋田県がん患者団体連絡協議会では2年前から、愛知県のNPO法人「ぴあサポートわかば会」の理事長である寺田佐代子さんを講師としてピア・サポート研修会を行なっています。

寺田さんは、初めてがん患者によるピア・サポートを提唱された方で、わかば会の活動を通じ、こころのケアのサポートプログラムを実施・普及に取り組んでいらっしゃいます。がん患者のためのサポートプログラムや、ピア・サポーターを養成するワークショップなどを、年間を通して行なっており、秋田県でもピア・サポートの輪を広げるため、そのプログラムの一部を実践してくださっています。

NPO 法人ぴあサポートわかば会

<http://witness/info> Email: [peer345@outlook.jp](mailto:peer345@outlook.jp)

2011年8月 秋田市、がん検診をすすめる会主催、第3回「がん検診をすすめる会」

「がん愛のフォーラム in 秋田」にて、講演。

テーマ：地域社会でのがん患者支援「こころのセルフケア・ピアサポート活動」。

2011年8月 岩手医大 患者サロン 講師

岩手医大、がん患者サロンにて、勉強会講師。「私を伝える自己表現力アップ」。

2011年10月 秋田県、がん患者団体連絡協議会主催、がん患者ピア・サポーター養成講座講師。

2011年10月 鳥取県主催、がん患者ピア・サポート研修会・講師。

2011年10月 日本癌治療学会、スカラシップ

ポスター展示でサポートプログラムを紹介。

2011年11月 読売新聞、公益財団法人正力厚生会主催の「がん医療フォーラム 2011」

活動紹介展示。

2012年8月 秋田県、がん患者団体連絡協議会主催、がん患者ピア・サポーター養成講座講師。

2013年10月 日本ピア・サポート学会第12回総会・大会

「コミュニティーにおける社会的支援としてのがん患者・ピア・サポート活動12年」が  
んサバイバーによるピア・サポートプログラム実践とその有効性について発表。

2013年10月20日 平成25年度、がんプロフェッショナル養成講座推進プラン参加

市民公開講座「優しいがん医療に必要なこと、人」にてパネラーとして出演。

2014年行政（愛知県・大府市）とコラボ

5月14日 大府市役所ロビーコンサートに出演。市民活動ピア・サポート活動をアピール。



あいち県民健康祭



大府市ロビーコンサート

2014年より毎年6月「健康の日」9月「あいち県民健康祭」で活動展示ブース出展

●2003年より、NPO法人ぴあサポートわかば会特定非営利活動である「がん患者サポート」活動のための資金を稼ぐ「輪の和」コンサートを展開している。2018年10月21日豊明市にて、第58回「輪の和」チャリティーコンサート開催する。（輪の和とは、人の輪、平和の和を意味する）